

第10期のお申込みは

<https://ehon-senmonshi.jp>



第10期 絵本専門士[®] 養成講座

絵本に携わる仲間との出会い
絵本の魅力と可能性を伝える人に



イラスト：いせひでこ氏作『ルリユールおじさん』（講談社）より

メッセージ

ノンフィクション作家 柳田邦男氏

絵本専門士の養成講座が始まって、早くも1～8期生合わせて495名の受講者が資格を得て、全国各地の現場で活動し、また9期生68名もこの春絵本専門士として旅立とうとしています。受講者たちは既に何らかの形で絵本の活動をしてきた方々ですが、受講における真剣な学びを経て、各地で新たな活動に取り組んでいます。電子機器の生活空間への浸透など情報環境が激変する中で、子どもの人間形成に不可欠な顔の見える生身の接触による言語力、感性、他者理解力の発達には、家庭での絵本の読み聞かせが今の時代ならではの重要な意味を持つようになっています。あなたもその新しい絵本文化を地域に広めるプロモーターを目指しませんか！



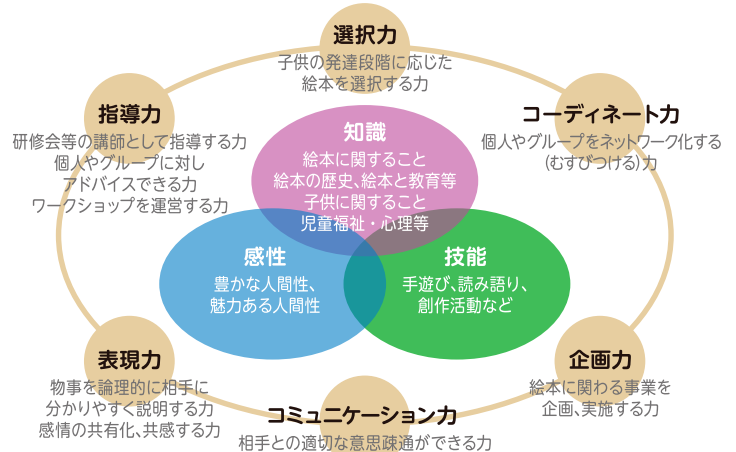
絵本専門士について

絵本専門士とは、絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家です。子供の読書活動の重要性、とりわけ絵本と親しむことや絵本の読み聞かせの大切さが指摘される中、絵本の魅力や可能性を伝える指導者として大いに期待される存在です。

絵本専門士養成制度は、2014年(平成26年)に絵本専門士委員会の提言を踏まえスタートした制度であり、国立青少年教育振興機構において実施されています。

絵本専門士の役割は、読み聞かせやおはなし会、ワークショップなど実際に絵本を使って行う取組み、絵本に関する知識を持って行う指導・助言、絵本に関する自らのネットワークを活かした人的・物的コーディネートなど幅広く、活動の場も幼稚園や学校から図書館、医療機関まで様々です。絵本のエキスパートとして地域における読書活動を推進し、絵本で子供や大人たちの心を豊かにしたいと思う方を募集します。

絵本専門士に望まれる主な資質・能力



資質・能力を身に付け、様々な場面で活躍

図書館 公民館 書店 出版社 児童館 小学校 幼稚園 保育所
放課後子供教室 高齢者福祉施設 病院 ホスピス 等

幅広い年齢層に絵本の素晴らしさを伝える

絵本専門士養成講座について

絵本専門士養成講座は、絵本専門士となるために必要な3つの領域(「知識を深める」、「技能を高める」及び「感性を磨く」)を身に付けるための講座です。講座は、30コマの授業(1コマあたり90または120分)と修了課題により構成されます。

授業は、絵本や子供に関する知識、おはなし会やワークショップを運営する技能、絵本の創作や編集に要する豊かな感性等をバランスよく修得できるような内容となっています。また、絵本に関わる多様な領域の専門家や実践家を講師として招き、講義、演習等の様々な形態で実施するとともに、1クラスあたり35名を定員として、きめ細かい指導を行うことを特長としています。さらに、各授業における理解を深めるため、授業前後に発展的な課題に取り組んだり、絵本専門士となった後の活動をイメージして学ぶことができるようディスカッションを行ったりすることとしています。

なお、絵本専門士の称号を得るためには、30コマの授業において一定の成績を修めるとともに、全授業終了後の修了課題において絵本専門士として必要な資質・能力を満たしていると評価されることが必要です。これらの要件を満たし、絵本専門士委員会によって絵本専門士として認定された場合、認定証が交付されるとともに、名簿に登録され、国立青少年教育振興機構のホームページにおいて公開されます。



絵本専門士 委員会

令和5年1月現在

委員長	秋田 喜代美	学習院大学教授、東京大学名誉教授
副委員長	鈴木 みゆき	國學院大學教授
委員	磯部 延之	公益社団法人全国学校図書館協議会参事、全日本小学校学校図書館研究会顧問
委員	岡本 光晴	日本児童図書出版協会会長
委員	神長 美津子	大阪総合保育大学特任教授
委員	杉上 佐智枝	日本テレビ放送網株式会社コンテンツ戦略局アナウンス部アナウンサー
委員	すとう あさえ	童話作家、一般社団法人日本児童文芸家協会常務理事
委員	田中 孝一	国立教育政策研究所フェロー
委員	馬場 耕一郎	内閣府子ども・子育て本部教育・保育専門官
委員	福田 孝子	三郷市読書活動アドバイザー
委員	藤田 のぼる	一般社団法人日本児童文学者協会理事長
委員	古川 和	国立青少年教育振興機構理事長
委員	柳田 邦男	ノンフィクション作家

● **ご応募にあたって** 本講座は会場(国立オリンピック記念青少年総合センター)にて対面で受講していただく必要があります。

● **受講料** 80,000円 ※材料費が別途発生する講義があります。受講にかかる交通費等は各自でご負担ください。

● **応募資格** 本講座は絵本に関する専門家を養成することを目的とするため、すでに絵本に関する一定の知識や実務経験(勤務経験等)を有する方(下記1～4のいずれか)を募集しています。

1. 子供や絵本に関連のある資格を有する者

- (例) 1. 司書、司書補の資格を有する者 2. 保育士の資格を有する者
3. 幼稚園教諭の資格を有する者 4. 小学校教諭の資格を有する者

2. 絵本に関わる実務について、原則として3年以上の経験を有する者

- (例) 1. 図書館職員としての実務経験を有する者 2. 保育士としての実務経験を有する者
3. 幼稚園教諭としての実務経験を有する者 4. 小学校教諭としての実務経験を有する者
5. 福祉施設職員としての実務経験を有する者
6. 絵本や児童文学の出版・販売の実務経験を有する者
7. 絵本や児童文学の編集の実務経験を有する者

3. 絵本に関わる活動に携わり、原則として3年以上の経験を有する者

- (例) 1. 絵本の読み語り活動の経験を有する者
2. 絵本に関するワークショップの実施経験を有する者

4. 絵本学や児童文学、美術について研究実績を有する者

- (例) 大学院において児童文学の研究実績を有する者

● **受講定員** 70名(35名×2クラス) ※クラスの選択はできません。

● **お申込みの流れ**



● **お申込み方法** 1. インターネットの申込フォームからお申込みください。

<https://ehon-senmonshi.jp>



2. お申込みが完了すると、ご登録されたアドレスに「受付メール」が自動で送られます。

※自動受付メールが迷惑メールとして振り分けられることがありますので、
no-reply@ehon-senmonshi.jp からのメールを受信できるようあらかじめ設定してください。

3. 受付メールには「受付番号」が記載されています。「受付番号」は受講者選考の結果発表の際に必要となりますので、大切に保管してください。

● **受講者決定** 受講者の選考は、1次選考、2次選考ともにエントリーシートの記載内容を基に行います。

選考の結果は下記ホームページにおいて公表し、通過者及び合格者の受付番号を掲載します。なお、発表時期は次のとおりです。【1次選考結果】3月下旬 【2次選考結果】5月中旬

※2次選考は1次選考通過者を対象に行います ※2次選考合格者が受講者として決定となります

<https://www.niye.go.jp/services/plan/ehon/jyukou.html>

受講が決定した方には、受講に関するご案内、受講料納付に関するご案内等をお送りいたします。

なお、選考の結果、決定に至らなかった方には、通知等はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

個人情報の取り扱いについて

- ・お申込みいただいた方の個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。
- ・講座中に撮影した写真等を本講座の広報、報告等のために、ホームページやパンフレット、報告書等で使用することがあります。
- ・上記のことをご確認の上、お申込みください。

第10期絵本専門士養成講座時間割（Aクラス）

回	開催日	時間	分野	科目	内容	講師
1	令和5年 6月17日 土・sat	14:00～14:20	—	開講式	—	—
		14:30～16:00	—	オリエンテーション	—	文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 加藤真由美／絵本・日本プロジェクト事務局長
		16:20～18:20	知識	絵本総論	絵本とは何か	松本猛／美術・絵本評論家、 ちひろ美術館常任顧問、横浜美術大学客員教授
	6月18日 日・sun	10:00～12:00	知識	絵本各論①	絵本の歴史、 絵本賞について	水間千恵／白百合女子大学教授
		13:00～15:00	技能	絵本を紹介する技術③	支援が必要な人々や 高齢者への絵本の役割	山内薫／NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
		15:20～16:50	感性	絵本のある空間	絵本のある望ましい 空間とは	幅允孝／有限会社バツハ代表
2	8月19日 土・sat	13:00～14:30	知識	さまざまなジャンルの 絵本②	昔話、童話を基に した絵本	藤本朝巳／平和学園学園長、絵本学会会長
		14:50～16:20	知識	絵本と出会う①	はじめての絵本との 出会い	石井光恵／日本女子大学名誉教授
		16:40～18:10	感性	絵本が生まれる現場②	絵本の編集	波賀稔／ 鈴木出版(株)取締役編集部長、第1期絵本専門士
	8月20日 日・sun	10:00～11:30	技能	絵本の世界を 広げる技術①	絵本を探す技術	黒沢克朗／大学非常勤講師
		12:30～14:00	知識	さまざまなジャンルの 絵本①	物語の絵本	今田由香／日本女子大学准教授
		14:20～15:50	感性	子供の心をとらえる もの	子供の心をとらえて 離さないもの	鹿島佳子／人形使い、人形劇木ぐつもの主宰
3	10月14日 土・sat	12:30～14:30	技能	おはなし会の手法②	おはなし会の テクニック	高田千鶴子／保育と人形の会主宰
		14:50～16:20	知識	さまざまなジャンルの 絵本③	科学絵本等(理科読)	滝川洋二、土井美香子／NPO法人ガリレオ工房
		16:40～18:40	技能	絵本を紹介する技術①	ブックトークの技術	越高一夫／ 児童書専門店「ちいさいおうち書店」店長
	10月15日 日・sun	10:00～12:00	技能	おはなし会の手法①	おはなし会を開こう	渡辺裕己子／元株式会社講談社「全国訪問おはなし隊」、 第4期絵本専門士
		13:00～14:30	知識	絵本と出会う④	書店での出会い	都築照代／ 「つづきの絵本屋」代表、第4期絵本専門士
		14:50～16:50	知識	絵本各論②	視覚表現、言語表現 から見た絵本	黒井健／絵本画家
4	12月9日 土・sat	12:30～14:30	技能	絵本の世界を 広げる技術②	ワークショップ	正木賢一／東京学芸大学准教授
		14:50～16:20	感性	絵本の持つ力	さまざまな角度から 絵本を見る	村中李衣／ ノートルダム清心女子大学教授、児童文学作家
		16:40～18:40	知識	絵本各論④	メディアとしての 絵本の位置づけ	吉田大輔／ 著作権情報センター附属著作権研究所副所長
	12月10日 日・sun	9:00～10:30	技能	絵本を紹介する技術②	書評・紹介文の書き方	生田美秋／ 高志の国文学館、千葉敬愛短期大学非常勤講師
		10:50～12:20	技能	絵本の世界を 広げる技術③	絵本コンシェルジュ術	神保和子／家庭文庫主宰、JBBY 理事
		13:20～14:50	知識	絵本と出会う②	保育・教育の場での 出会い	秋田喜代美／ 学習院大学教授、東京大学名誉教授
		15:10～17:10	感性	絵本が生まれる現場①	作家の感性に触れる	いせひでこ／画家、絵本作家
5	令和6年 1月20日 土・sat	13:00～14:30	知識	絵本各論③	子供の知的・社会的 発達と絵本との関わり	横山真貴子／ 文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官
		14:50～16:20	感性	心に寄り添う絵本	心のケアと 絵本の可能性	小澤美和／小児科部長
		16:40～18:10	感性	ホスピタリティに学ぶ	人を楽しませる為の 手法を学ぼう	関口陽介／株式会社 ATARAYO 取締役会長
	1月21日 日・sun	9:30～11:00	知識	絵本と出会う③	図書館等での出会い	伊藤明美／(福)芳雄会保育園図書顧問・司書、 大学講師、元浦安市立中央図書館司書
		12:00～14:00	感性	大人の心を 豊かにする絵本	人生で3度、絵本を手にする 喜び、大人にこそ絵本を	柳田邦男／ノンフィクション作家
		14:20～15:50	—	ディスカッション	絵本専門士としての 今後の活動	加藤真由美／絵本・日本プロジェクト事務局長
		16:00～16:20	—	閉講式	—	—

※クラスの選択はできません。 ※記載内容について、やむを得ず変更になることがあります。

※職名等は令和5年1月現在のものです

第10期絵本専門士養成講座時間割（Bクラス）

回	開催日	時間	分野	科目	内容	講師
1	令和5年 6月17日 土・sat	14:00～14:20	—	開講式	—	—
		14:30～16:00	—	オリエンテーション	—	文部科学省総合教育政策局地域学習推進課 加藤真由美／絵本・日本プロジェクト事務局長
		16:20～18:20	知識	絵本総論	絵本とは何か	松本猛／美術・絵本評論家、 ちひろ美術館常任顧問、横浜美術大学客員教授
	6月18日 日・sun	10:00～12:00	技能	絵本を紹介する技術③	支援が必要な人々や 高齢者への絵本の役割	山内薫／NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
		13:00～15:00	知識	絵本各論①	絵本の歴史、 絵本賞について	水間千恵／白百合女子大学教授
		15:20～16:50	感性	絵本のある空間	絵本のある望ましい 空間とは	幅允孝／有限会社バツハ代表
2	8月19日 土・sat	13:00～14:30	知識	絵本と出会う①	はじめての絵本との 出会い	石井光恵／日本女子大学名誉教授
		14:50～16:20	知識	さまざまなジャンルの 絵本②	昔話、童話を基に した絵本	藤本朝巳／平和学園学園長、絵本学会会長
		16:40～18:40	知識	絵本各論④	メディアとしての 絵本の位置づけ	吉田大輔／ 著作権情報センター附属著作権研究所副所長
	8月20日 日・sun	10:00～11:30	知識	さまざまなジャンルの 絵本①	物語の絵本	今田由香／日本女子大学准教授
		12:30～14:00	感性	子供の心をとらえる もの	子供の心をとらえて 離さないもの	鹿島佳子／人形使い、人形劇木ぐつの木主宰
		14:20～15:50	技能	絵本の世界を 広げる技術①	絵本を探す技術	黒沢克朗／大学非常勤講師
3	10月14日 土・sat	12:30～14:00	知識	さまざまなジャンルの 絵本③	科学絵本等（理科読）	滝川洋二、土井美香子／NPO法人ガリレオ工房
		14:20～16:20	技能	絵本を紹介する技術①	ブックトークの技術	越高一夫／ 児童書専門店「ちいさいおうち書店」店長
		16:40～18:40	技能	おはなし会の手法①	おはなし会を開こう	渡辺裕己子／元株式会社講談社「全国訪問おはなし隊」、 第4期絵本専門士
	10月15日 日・sun	10:00～11:30	知識	絵本と出会う④	書店での出会い	都築照代／ 「つづぎの絵本屋」代表、第4期絵本専門士
		12:30～14:30	技能	おはなし会の手法②	おはなし会の テクニック	高田千鶴子／保育と人形の会主宰
		14:50～16:50	知識	絵本各論②	視覚表現、言語表現 から見た絵本	黒井健／絵本画家
4	12月9日 土・sat	13:00～14:30	感性	絵本の持つ力	さまざまな角度から 絵本を見る	村中李衣／ ノートルダム清心女子大学教授、児童文学作家
		14:50～16:50	技能	絵本の世界を 広げる技術②	ワークショップ	正木賢一／東京学芸大学准教授
		17:10～18:40	知識	絵本と出会う③	図書館等での出会い	伊藤明美／（福）芳雄会保育園図書顧問・司書、 大学講師、元浦安市立中央図書館司書
	12月10日 日・sun	9:00～10:30	技能	絵本の世界を 広げる技術③	絵本コンシェルジュ術	神保和子／家庭文庫主宰、JBBY 理事
		10:50～12:20	知識	絵本と出会う②	保育・教育の場での 出会い	秋田喜代美／ 学習院大学教授、東京大学名誉教授
		13:20～14:50	技能	絵本を紹介する技術②	書評・紹介文の書き方	生田美秋／ 高志の国文学館、千葉敬愛短期大学非常勤講師
		15:10～17:10	感性	絵本が生まれる現場①	作家の感性に触れる	いせひでこ／画家、絵本作家
5	令和6年 1月20日 土・sat	13:00～14:30	感性	絵本が生まれる現場②	絵本の編集	波賀稔／ 鈴木出版（株）取締役編集部長、第1期絵本専門士
		14:50～16:20	感性	ホスピタリティに学ぶ	人を楽しませる為の 手法を学ぼう	関口陽介／株式会社 ATARAYO 取締役会長
		16:40～18:10	感性	心に寄り添う絵本	心のケアと 絵本の可能性	小澤美和／小児科部長
	1月21日 日・sun	9:30～11:00	知識	絵本各論③	子供の知的・社会的 発達と絵本との関わり	横山真貴子／ 文部科学省初等中等教育局幼児教育課幼児教育調査官
		12:00～14:00	感性	大人の心を 豊かにする絵本	人生で3度、絵本を手にする 喜び、大人にこそ絵本を	柳田邦男／ノンフィクション作家
		14:20～15:50	—	ディスカッション	絵本専門士としての 今後の活動	加藤真由美／絵本・日本プロジェクト事務局長
		16:00～16:20	—	閉講式	—	—

※クラスの選択はできません。 ※記載内容について、やむを得ず変更になることがあります。

※職名等は令和5年1月現在のものです

養成講座の様子

おはなし会の手法①(渡辺裕己子講師)



おはなし会の手法②(高田千鶴子講師)



絵本を紹介する技術①(越高一夫講師)



絵本の世界を広げる技術②(正木賢一講師)



養成講座を受講して学んだこと・苦労したこと



木下 慎一郎さん (絵本専門店・探究型
学習塾・フリースクール代表)

公立学校教員だった頃、現職への転職を考えた時に絵本専門士の情報を見つけ、大好きな絵本で地域教育に寄与できる可能性を感じてその日のうちに応募した時の高揚感を今でも覚えています。大変だったのは、教員をしながらレポート課題に取り組んだり土日に東京まで赴いたりすること。ただ、毎回の講義で先生方からいただく素晴らしい知見と仲間との交流には、そんな苦労が吹き飛ばすほどのたくさんの学びや刺激をいただきました。

どの講義からも共通して伝わってきたのは「絵本というメディアの可能性の大きさ」。いつもそれを念頭に置き、絵本を選んだり子どもと本を読んだりできるようになり、地域でも絵本を通してたくさんのつながりに恵まれました。



腰越 未樹さん (図書館司書)

自分にとっての「絵本とは何か」を考え続けてほしい、という先生の言葉を常々思い返しています。絵本が私たちの人生や社会にどのような意義を持つのか、どうやって絵本を必要な人に届けるのか。図書館職員として考え、学び続けるためのたくさんの道筋を示していただきました。

絵本に関するあらゆる分野の第一線でご活躍されている先生方の講義は、情報量・熱量ともに素晴らしく、ついていくのが大変で、同時にとても楽しかったです。課題も、資料を集めたり、考えたり、作ったり…を短い期間でこなさなければならず、くじけそうになったこともあります。しかし、全国から集まった仲間たちと励ましあいながらやり遂げたことは、得難い経験となりました。



絵本専門士としての活動



美能 美貴子さん（読書教室講師）

自宅で読書教室を開く傍ら、保育園や小学校、公民館、児童クラブなどでボランティアとして読み語りをしています。絵本で行う読書へのアニメーションや中学校での絵本ワークショップ、さまざまな背景を持つ大人向けの絵本講座の実施など、認定後は活動の場が広がりました。

絵本専門士の繋がりは仲間と協力して行う活動も生まれています。「絵本でSDGs推進協会」で代表理事を務める同期の仲間が企画した『別冊太陽 絵本で学ぶSDGs』（平凡社）の編集にサポーターとして加わり、選書やキャプション作りに携わりました。5人のメンバーが個性をいかしながら楽しく充実した良い時間を重ねることができたのは、信頼し合える仲間同士だから。深く感謝しています。今後とも縁を大切に、持ち味を活かした活動を地道に続けていきたいと思っています。



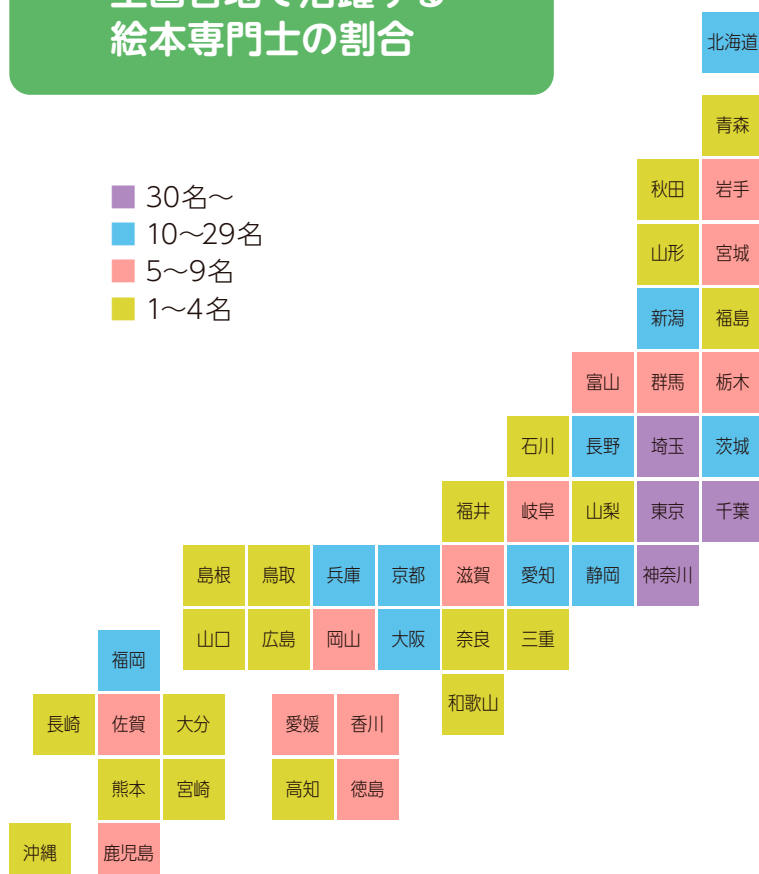
上藤 美紀代さん（ヴォイスセラピー実践研究家／真宗大谷派僧侶）

「“声のちから×絵本のちから”でコミュニケーション力アップ!」といったテーマの講座を多く求められますが、私が最も力を入れているのは、県立こども病院での夜間寄り添いボランティア（寝かしつけ係）、少年院での絵本を活用した面接、少年鑑別所での読み語り・読み合いボランティアです。少年鑑別所である少年が書いてくれた「先生のような人が増えれば、世の中の犯罪、非行、自殺はきっと減る!」という感想は私の活動の支えであり、絵本を介したさまざまな出会いは日々の暮らしの励みや潤いになっています。また、臨床の絵本専門士を目指しており、総合病院の緩和ケア病棟やがんの患者さんとご家族が憩う施設での読み語り・読み合いの活動も新しい展開として広がります。『絵本専門士』の認定は、人生を本当に豊かに実らせてくれるものと実感しています。

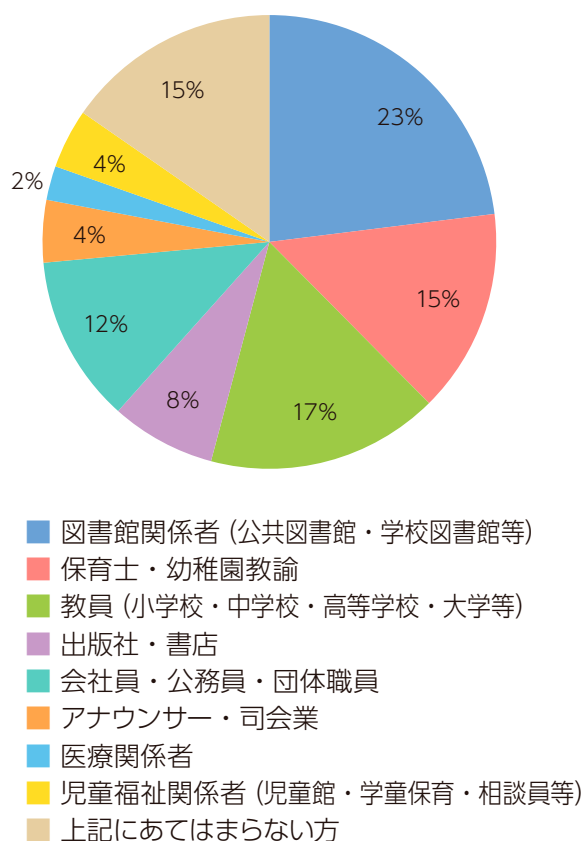


全国各地で活躍する絵本専門士の割合

- 30名～
- 10～29名
- 5～9名
- 1～4名



1～8期絵本専門士の職業の割合



- Q1.** 受講にあたって絵本に関する資格や実務経験が要件とされているのはなぜですか。
- A1.** 本講座は、絵本に関する専門家を養成することを目的とするため、絵本に関する一定の知識や経験を有する方を対象としています。
- Q2.** 一部の授業のみ受講したいのですが、養成講座に申込みすることは可能ですか。
- A2.** 本講座は、絵本の専門家を養成するための講座であることから、全ての授業に出席いただける方が対象となります。
- Q3.** AクラスとBクラスがありますが、希望のクラスを選ぶことはできますか。
- A3.** クラスの選択はできません。受講者として決定した方に対して、所属クラスを通知します。なお、授業の順序が異なるのみであり、授業内容、講師については基本的に両クラスともに同じです。
- Q4.** 地方から講座に参加することは可能ですか。
- A4.** 交通費、宿泊費等は自己負担となりますが、参加いただくことは可能です。なお、本講座の会場である国立オリンピック記念青少年総合センター内には宿泊施設(有料)がありますので、事前に予約していただければ同施設への宿泊が可能です。
- Q5.** 講座を受講するにあたり、事前に準備をしなければいけないことはありますか。
- A5.** 講師から受講前・受講後にレポートなどの課題を求められる場合があります。その際、「受講生専用サイト」のWebシステムを利用し、課題を提出していただくため、インターネットができる環境(パソコン)が必要です。
- Q6.** パソコンが使用できなくても受講は可能ですか。
- A6.** 上記A5.にもあるように、受講者決定後「受講生専用サイト」のWebシステムを利用し、絵本専門士委員会事務局との連絡や課題の作成・提出など、ほとんどがパソコンでの作業となりますので、パソコンの基本操作は最低限必要となります。
- Q7.** 講座を修了し、絵本専門士として認定されるためにはどのような要件を満たす必要がありますか。
- A7.** 講座の修了要件は、授業内容を一定以上修得しており、かつ修了課題において絵本専門士として必要な資質・能力を備えていると認められることです。
- Q8.** 絵本専門士として認定された場合、これを履歴書に記載する等、自己の能力を証明するものとして使用することができますか。
- A8.** 絵本専門士委員会が授与した称号としてご活用いただけます。

Q&A

●会場までの交通案内

国立オリンピック記念青少年総合センター
住所：東京都渋谷区代々木神園町 3-1
(最寄駅：小田急線参宮橋駅、地下鉄千代田線代々木公園駅)
HP: <https://nyc.niye.go.jp/>

●東京駅から
JR 中央線約14分新宿駅乗り換え
小田急線各駅停車約3分
参宮橋駅下車徒歩約7分

●羽田空港から
東京モノレール約23分浜松町駅乗り換え
JR 山手線(外回り)約23分新宿駅乗り換え
小田急線各駅停車約3分
参宮橋駅下車徒歩約7分



●お問合せ先

国立青少年教育振興機構 教育事業部企画課 (絵本専門士委員会事務局)

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町 3-1

TEL: 03-6407-7714 FAX: 03-6407-7699 HP: <https://www.niye.go.jp/services/plan/ehon>